

## 事例集：事例にみる調べ物の考え方

書誌末尾【 】→NDL 請求記号

### 事例 1 水上勉『鈴の鳴る人 第 2 部』という単行本は出たか？ — 書誌データを手がかりに

次の本の第 2 部は出たのか？

- ・『鈴の鳴る人 第 1 部』 水上勉 毎日新聞社 1972 【Y81-8662】  
NDL-OPAC を引いても「第 2 部」がでてこないのだが……。

#### ○考え方

とりあえず、第 1 部の書誌データをじっと見て、出版状況や当館の納本率と照らし合わせる

請求記号: Y81-8662

タイトル: 鈴の鳴る人. 第1部

責任表示: 水上勉著

出版地: 東京

出版者: 毎日新聞社

出版年: 1972

形態: 285p ; 19cm

入手条件・定価: 580円

個人著者標目: 水上, 勉 (1919-2004) || ミナカミ, ツトム

NDC(6): 913.6

時代: 続編だから 1972 年よりあと → 昭和後期(終戦後のような混乱期でない)

出版地、出版社: 東京の大手 cf. 地方出版、海外出版

NDC(6): 913.6 → 近代の小説 > 書きおろし or 連載?

著者: 水上勉 → 有名な作家 > 全集は? 作家研究 詳細な書誌(著作年譜)あるか?

単行本(続きもの)で定価 580 円 → 出版物 > 買える本 → 流通 MARC/販売書誌

国会図書館にない単行本 → 他館の所蔵 未収本(納本もれ)?

#### ○探索過程

##### (総合目録)

人文リンク集 > 蔵書検索・出版情報 > 国内一般

・「NDLサーチ」 NDL-OPAC+旧ゆにかねっと+旧児童書総合目録+旧全国新聞総合目録など

・「CiNii Books」 大学図書館系の総合目録

##### (販売書誌)

・「Books.or.jp」 (<http://www.books.or.jp/>)

・出版年鑑. 1973年版. -- 出版ニュース社, 1973 【UP3-4】 ※第1部が出た1972年掲載分(多くの年鑑は内容年とタイトル年が1年ずれる)以降、10年間分を書名で探したが、見あたらず。

・日本書籍総目録. 1977/1978-2004 / 日本書籍出版協会. -- 日本書籍出版協会, 1977-2004

【UP3-13ほか】

(納本率) 近年の一般流通本なら9割以上。(下記、[豆知識]参照)

(全集) よい全集・著作集には資料編があり、著作年譜などがある。

・水上勉全集. 全26巻. -- 中央公論社, 1976-1978 【KH347-55】 ※全集には「鈴の鳴る人」は未収

録。第26巻末尾に著作目録と詳細な年譜あり。著作目録に次の形で当該作品が表示(p.541)。

『鈴の鳴る人』第一部 昭和四十七年六月 毎日新聞社

他の作品で多巻セットのものは、「上・下」などと一括して記載されている。→この目録の作成者は「第二部」単行本を確認できなかったと解釈できる。

(作家研究) 文学研究からさらに補強する場合>作家研究>作品研究

第2部が単行本化されなかった経緯について雑誌記事などはないか、全集の月報や、雑誌記事索引、専門書誌を検索したが、関係記事は見あたらず。

- ・水上勉全集 月報。-- 中央公論社, 1976.6-1978.11 【Y91-E503】
- ・国文学論文目録データベース リサーチ・ナビ:人文リンク集>日本語・日本文学・日本関係
- ・雑誌記事索引(NDL-OPAC)
- ・日本文学研究文献要覧. 1965-. -- 日外アソシエーツ, 1976-【KG1-37, KG1-E63 ほか】

○回答A 単行本としての続編は見あたらず。版元の規模、流通本であることなどからいって、第2部はなんらかの都合で出なかったと言えるのでは。

○さらに考えると 単行本でなければ、存在するかも。(質問の再構成)

長編小説の多くは連載がもとになっている。

上記年譜を1972年から75年まで通覧したところ、昭和四十七年の部分にこうある(p.506)

「鈴の鳴る人」第二部を「サンデー毎日」(十一月十九日号~四十八年十二月三十日号)に連載

実際、上記のものに載っていた

○回答B 読めればよいのであれば、『サンデー毎日』に連載(S47.11.19-S48.12.30)あり。

(参考1) 初出索引

近年出た連載小説の初出索引は、『サンデー毎日』を採録対象としていないため、掲載巻号ページ一覧を得ることができなかった。

- ・文芸雑誌小説初出総覧 / 勝又浩[他]. -- 日外アソシエーツ, 2005.7 【KG1-H36】

※文芸年鑑でも出るが、初出年代の事前探索と年鑑内での通覧が必要

(参考2) 著作の活字化の変遷

常識の類?

初出誌紙→図書初収→文庫化再刊→著作集・全集所収→…(復刊、復刻)

近年、初出情報は奥付(かその前ページ)に記載されるようになってきた(コミック本などでも)。

[豆知識1] 国立図書館での納本率・残存率 (イメージ)

	明治・大正・昭和前期			戦争	戦後(昭和後期)・平成			→
図書	中	→	→	高	中	→	→	高
その他*	低	→	→	低	低	→	→	中
雑誌	低	→	→	低	低	→	→	高
新聞	低	→	→	低	低	→	→	高

\*その他→地図、パンフレット、楽譜、マンガなど

参考文献: 田中久徳「旧帝国図書館の和雑誌収集をめぐる」『参考書誌研究』(36) 1989.8、「国内出版物をどのくらい所蔵しているの?」『国立国会図書館月報』(566) 2008.5、木川田朱美;辻 慶太「国立国会図書館におけるポルノグラフィの納本状況」『図書館界』61(4) 2009.11、大場博幸ほか「図書館はどのような本を所蔵しているか」『日本図書館情報学会誌』58(3) 2012.9

**事例2 夢について戦前の単行本は？ —— NDL-OPAC を主題書誌として使う**

戦前期の「夢」に関する日本語文献をさがしている。文学ではなく心理学的な見地からのもの。  
 出版年「1000～1945」 + タイトル「ユメ」 でNDL-OPACを検索しても、心理学以外のものが多く混ざっているのだが……(530 件以上)。

**○考え方**

タイトルではなく、件名を用いてみる

件名「夢」はあるか？ → 件名「夢」 + 出版年「1000～1945」 → 和書は 0hit 本当にないの？

実は。。。NDL で件名の付与は 1949 年～ (下記、豆知識参照)

(対処法) 戦前期図書に付与されている NDC を使う

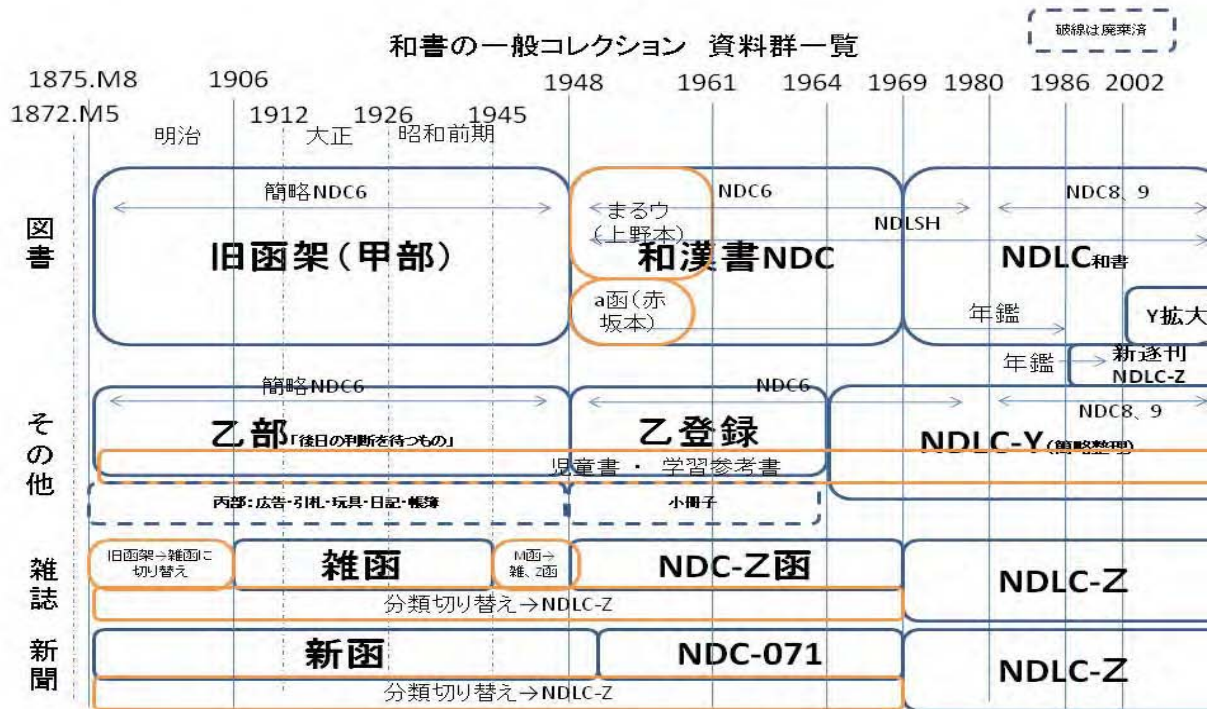
→ 出版年「1000～1945」 + タイトル「ユメ※」 + 分類記号=145\*(NDC6 夢→145.2 睡眠・夢)

※新しい NDL-OPAC では、「夢」など一文字検索に対応していない。ここではヨミを検索

**○回答** 5 点ほどあり。

**[豆知識 2] NDL-OPAC で使える主題標目と資料群**

- 戦前の和図書 → 簡略 NDC6 版(基本 3 ケタ、一部 4 ケタ)のみ
- 戦後の和図書 → NDC6 版、NDC8,9 版(1980-)と、件名 (NDLSH: 1949-)
- 雑誌、新聞 → おおむね NDC や件名では引けない(NDLC で引ける:戦後分など)



太字→資料群の名称(館内ジャーゴン)。請求記号(排架場所)や保存区分(甲乙丙)などが語源。  
 件名は当初、日本件名標目表(NSH)を参考に付与した。NDLSH 表としての成立、適用は 1964 年。  
 参考文献: 鈴木宏宗「国立国会図書館の和図書」『国立国会図書館月報』(600) 2011.3

### 事例 3 林田茂雄の没年は？ —— あまり有名でない人を調べる

林田茂雄という評論家について没年を知りたい。Wikipedia に 1991 年とあったが、本当だろうか？

林田 茂雄(はやしだ しげお、1907 年 1 月 15 日 - 1991 年 1 月 28 日)は、日本の評論家。  
熊本県生まれ。熊本第二師範学校中退。1924 年上京、出版社等の仕事をしながら鳴海四郎の  
筆名で「文学界」(聚芳閣)ほかに戯曲や小説を投稿、同時に左翼活動を行う。  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9E%97%E7%94%B0%E8%8C%82%E9%9B%84> (2012.10.17 参照)

#### ○考え方

調査のタイプ: 人物調査 → 有名度は？ (下記、豆知識を参照)

時代: 昭和前期? → 活躍時期と出版物の下限を見る

場所: 日本 → 国内 外地(満洲など)ではない

主題:

評論家 → 作家? 学者? 職業作家?

→ 著作のジャンルは? → NDL-OPAC > 主題 > 活躍ジャンルがわかるか

#### ○探索課程

(NDL-OPAC)

著書の主題は? → 人生論? では出版者は? → 青木、白石…、左派系?

※新しい NDL-OPAC では、「詳細検索」>「著者」でもよいが、「検索語一覧」が標目を一覧する機能があるので、プルダウンで著者に変更し、姓名の間にスペース(全角、半角どちらでも可)入れて検索。次のように表示される。

書誌数	著者
56	林田, 茂雄, 1907-    ハヤシダ, シゲオ -

生年で同定できる (没年が追記されていることもある)。

死亡時より以降の単行本があれば、**著者略歴** (奥付ページ) で判明することも。

<一般人名事典>

- ・現代日本人名録 / 日外アソシエーツ編集 ; [1987]-. -- 日外アソシエーツ, 1987-  
【GB13-E10】 ※1990 年版に記載あり、次の 1994 年版になし→やはり 1990 年代前半か?

<新聞 DB>

- ・聞蔵、ヨミダス、毎索、日経テレコン → ×

<物故者 DB>

- ・CD 現代日本人名録: 物故者編. 1901-2000 / 日外アソシエーツ編集. -- 日外アソシエーツ, 2001  
【YU231-1467】 対応する冊子あり (現代物故者事典. 1991~1993 など) → ×

<著者・執筆家>

実はリサナビ>調べ案内に「著者の没年を調べるには」がある。

- ・文化人名録. 第26版 / 日本著作権協議会. -- 日本著作権協議会, 2001.10 【GB13-G12】 → 物故者の部でなく生存者の方に立項。
- ・現代日本執筆者大事典 / 佃実夫. -- 日外アソシエーツ, 1978- 【GB13-76】 → 1978 年版には立項。次の 77/82 年版には見当たらず。
- ・出版年鑑 / 出版ニュース社出版年鑑編集部 [編集]. -- 1951 年版 (1951)- → 1992 年版

【Z45-22】「ゆける人」→×

＜文学者:実作者、評論家、文学研究者＞

- ・文藝年鑑 / 日本文藝家協会. -- 新潮社 →平成 4 年版【Z42-41】「訃報」→×
- ・日本近代文学大事典 / 日本近代文学館編. -- 机上版. -- 講談社, 1984 【KG2-78】 → 当然、没年はないが立項。1977 年 5 巻本の人名編を拡大したもの。

＜専門人名事典＞

- ・民間学事典. 人名編 / 鹿野政直, 鶴見俊輔, 中山茂. -- 三省堂, 1997.6 【UA11-G25】 → ×
- ・近代日本社会運動史人物大事典 / 近代日本社会運動史人物大事典編集委員会編 ; 1-5. -- 日外アソシエーツ, 1997 【E2-G73】 → ×

○さらに考える…… 探索戦略の練り直し

「1 月 28 日」という詳細な日付を wikipedia は何で知ったのだろうか？

日まで詳細な資料→デイリー→新聞か？ そういえば著者は戦前左翼活動で…

- ・赤旗 : 日本共産党中央機関紙. -- 縮刷版. 日本共産党中央委員会, 1966-1997. 【Z99-9】 → 月初めの総目次>社会>人事 1991. 1. 30 p. 15 28 日 84 歳で死去とあり。

○回答

『赤旗』1991. 1. 30 p. 15 に訃報記事あり。

○あとから……

演繹的、論理的に解こうとして行き詰ったので、帰納的に（つまり「どんな資料に答えが載っているのか」を先に考えて）考えなおしたのが効を奏した。

年月日、特に日付まで判明ずみの事象は、その年月日が新聞、年表のインデックスになる。

実は次の R 本に載っていた。

- ・人物物故大年表. 日本人編 2(1946-2004). -- 日外アソシエーツ, 2006. 1 【GK2-H16】 → 『CD 現代日本人名録 : 物故者編』と必ずしも連動していない？

### 【豆知識 3】 人物調査の 3 類型

3 類型	例えば	記載がある資料・ツール	ツールの特性
a. 有名人	大物政治家 タレント 作家 著名事件の当事者	人名事典 一般年鑑 現代の紳士録	ジェネラル(ジャンル横断的)
b. 一部で or 一時的に有名	政治家 学者 業界人 官僚 社長 地方名士 著作者 事件に巻き込まれた人	専門事典 地方年鑑 職員録 著作権台帳 名称典拠 古い紳士録 …専門紙・誌	専門別 地域別 同時代のジェネラルなもの・専門別ツール …専門的資料
c. 無名人	市井の人 普通の人	電話帳 同窓会名簿 住宅地図 過去帳 戸籍	(狭義の)参考図書でないもの 出版物でないもの 機微情報

一般に a.の有名人はあまり聞かれない(利用者自身がジェネラルなツールを引けばすむ)。c.無名人もニーズが発生しないのであまり聞かれない(先祖調べを除く)。その中間 b.で、質問が発生するが、時代や活躍ジャンルをさぐりあてることがカギ。

b.で比較的ジェネラルなツールの例→明治過去帳、漢文学者総覧、和学者総覧

c.の先祖調べ (ルーツ探し)

「ファミリーヒストリー」などで戦後 2、3 回目のブーム？ b. は図書館でもなんとか…… では c. は？

→家系図の作り方→件名:系譜、タイトル:家系図



#### 事例 4 『満洲行政』はどこにある？ —— 古い雑誌を見つけるには

雑誌『満洲行政』5 巻 6 号はどこに所蔵されているか？ その号に載っている論文を見たい。  
満洲で出版されていたらしい。NDL-OPAC で見当たらないのだが……。  
『植民地文化研究』に載った西田勝による論文の文献注に出てきた。

#### ○考え方 主題を分析してみる

調査のタイプ: 所蔵調査 → 書誌調査を伴うべき 表現形にも注意※洲/州  
時代: 満洲→戦前期、昭和前期 → 歴史学(日本史、中国史)? ジャンル史  
場所: 満洲→中国(東北部)、満洲国  
→ 日本 中国 独立国(傀儡) 植民地学(地域研究)

#### 主題:

行政 → 行政学 行政学史  
古い雑誌 → 古本(特定号なので可) 雑誌研究  
国会図書館にない本 → 他館の所蔵>総目 未収本/未整理

#### ○探索課程

##### (書誌調査)

・満洲国出版目録. 第 8 巻 / 岡村敬二. — 金沢文圃閣, 2009.8 【UP5-J8】

満洲行政 菊 昭九. 七 王道精神の鼓吹、文化社会 満洲行政学会  
(『雑誌年鑑. 昭和 15 年版』よりの転載)

→雑誌は確かに存在。5 巻は昭和 14 年ごろ？

「満洲行政学会」→役所でも満鉄でもない。行政といいながら、文化社会とは……総合誌？

##### (所蔵調査) → NDL-OPAC 総目

NDL-OPAC なし⇨当館所蔵なし

[ネット] Webcat(大学+α、単行/逐次)、旧ゆにかネット(県立+α、単行)→いまは NDL サーチ

##### (国会図書館にない本>雑誌)

→ 人文リンク集>蔵書検索・出版情報>雑誌 事前に集めた URL 集(下記は職員用の例)

[文学館] 日本近代文学館/神奈川近代文学館

[旧・私立公共] 成田山仏教図書館/三康図書館/金光図書館

[公共系逐刊総目] 東京都区市町村立図書館・新聞雑誌総合目録 (県ごとに組織化)

cf. 『全国公共図書館逐次刊行物総合目録』6vols(1963-1968)【027-Ko548t3】

##### (地域研究)

→ 当室の棚: 書誌>地域>植民地 事前に集めた R 本

・旧外地関係資料目録. — 北海道大学附属図書館, 1975 【GE1-6】

・旧植民地関係機関刊行物総合目録. 満洲国・関東州編 / 編纂: アジア経済研究所図書資料部. —  
アジア経済研究所, 1975 【UP11-18】

・旧外地関係資料目録. 3vols. / 拓殖大学図書館. — 拓殖大学図書館, 1984.3-1999.2 【D1-E149】

・「満洲」関係経済文献目録 / 山本有造. — 京都大学人文科学研究所, 1992.3 【D1-E131】

・米国議会図書館所蔵戦前期アジア関係日本語逐次刊行物目録 / 井村哲郎. — アジア経済研究所,  
1995.3 【GE1-G1】

・大連図書館蔵満鐵資料目録 / 大連図書館. — 遼寧人民出版社, 2002.3 【UP115-H25】

(雑誌研究) その雑誌についての記述を見つける→所蔵情報があるかも 書誌調査でもある

<特殊な主題書誌や総目次の書誌>

- ・雑誌新聞文献事典 / 天野敬太郎編. -- 金沢文圃閣, 1999 【UP54-G9】→×
  - ・日本雑誌総目次要覧 / 天野敬太郎, 深井人詩. -- 日外アソシエーツ, 1985- 【UP54-25 ほか】→×
- 現在は v.3「1994-2003」まで。総目次には通常、解説がつく。レア雑誌なら所蔵情報も期待できる。  
<一般の雑誌記事索引>→NDL 雑索など

・『満洲行政』文芸欄を読む--「満洲文学」の「黄金時代」の一翼を支える(特集「満洲国」文化の性格(7)) / 西田 勝. -- 植民地文化研究.(通号 7) [2008] 【Z71-H398】  
・『満洲行政』文化系主要目次 1934 年 12 月～1941 年 1 月(特集「満洲国」文化の性格(7)) / 西田 勝. -- 植民地文化研究.(通号 7) [2008] 【Z71-H398】

(古雑誌) ある号だけ必要なら古書販売サイトを案内する手も

人文リンク集>蔵書検索・出版情報>出版情報・古書店(国内) ※館外向けの現状は要改善

・日本の古本屋 ・スーパー源氏 ・BOOK TOWN じんぼう など Amazon マケプレは……

(ネット検索)

表記のゆれに注意。例)漢字のブレ「洲・州」新旧かなづかい

「満洲行政」→一般名詞→ノイズ→検索語としては不適→「満洲行政学会」を使う ※満洲行政學會  
大分大学の学術情報リポジトリに v.6,n.6 以降があるようだ……

## ○回答

- ・回答 A 『植民地文化研究』(7) [2008]をご覧ください。所蔵先が載っているかもしれません。
- ・回答 B 自分の論文で引用した方に問い合わせてみたら?  
→ レフェラル・サービス(照会)への移行 (この場合、『著作権台帳/文化人名録』で連絡先が出た)

## ○あとから……

『植民地文化研究』(7) [2008]を当方でも読んだが、所蔵情報は見当たらず。

索引がピンインのためすぐには引けない総合目録を検索したら出た。

- ・中国館蔵満鐵資料聯合目録 / 満鐵資料編輯出版委員會編 ; : [セット] - 第 30 卷. -- 東方出版中心, 2007 【UP115-C37】 → 22 卷 p.450 に「満洲行政 / 満洲行政学会」の項があり、当該号は、国家図書館にあると読める。

- ・回答 C その号は中国の国家図書館、黒竜江省図書館にあります。

## ○1年後

Worldcat で、大分大学所蔵分の書誌情報が出るようになった(やはり当該号はないが)。

## [豆知識 4] 戦前の雑誌を見つけるには

(注意点)

- ・タイトルの変遷 ← 書誌調査も並行させる ex. 岩波『図書』の初号を見たい! →webcat 見ると…
- ・雑誌の性格  
流通/非流通 学術/一般 業界誌/一般誌  
機関誌、会報、同人誌、娯楽誌、カストリ誌、PR 誌…… 「週刊新聞」かもしれない→豆知識 5

(定番の調べ)

[ネット情報資源] 一般的な所蔵調査 + 「人文リンク集>蔵書検索・出版情報>雑誌」 + Worldcat  
[冊子] 1960s の総目、創刊号コレクション類の目録 外地もの

(定番で出ない場合)

純消費的なもの 大衆娯楽誌、PR 誌 → 古本販売サイトなどへ(図書館が収集、整理しないもの)

**【豆知識5】 古い新聞を見つけるには**

- (職員用) 人文リンク集>出版情報・古書店・新聞>新聞 より
- ・区市町村立図書館新聞雑誌総合目録 ←県別に形成された逐刊総目の例として1つ
  - ・社会情報研究資料センター所蔵新聞目録 (東京大学)  
<http://center30.iii.u-tokyo.ac.jp/newspaper/>
  - ・新聞ライブラリー <http://newspark.jp/library/data/index.html>
  - ・新聞紙名変遷情報 ←旧・全国新聞総合目録の一部機能が復活  
[http://rnavi.ndl.go.jp/simpledb\\_search/?keyword=&database=NPTITLETRANSITION](http://rnavi.ndl.go.jp/simpledb_search/?keyword=&database=NPTITLETRANSITION)

**【豆知識6】 国会図書館にない本を見つける**

- ・国立国会図書館にない本 / 小林昌樹、鈴木宏宗、山田敏之 (国立国会図書館月報. (612) pp.20-28, 2012年3月)

**【豆知識7】 国会図書館作成パスファインダーの見つけ方**

Google など検索エンジンで、「調べ方案内 (主題語)」で検索すると、比較的上位に出現する。

**【豆知識8】 国会図書館の RS 部門作成の DB の見つけ方**

- リサーチ・ナビのトップ右下「国立国会図書館のデータベース一覧はこちら」をクリック  
 ・しらべるためのツールあれこれ>データベース概要 <http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/databases.php>

**予備知識 1 情報の粒度とジェネラル・ツールの対応**

ジェネラルなツールをスペシャルに使用する場合(後述※)、案件(答えの文字列)がどのレベルに出現しうるか(逆に言えば自分はどのレベルを探索しているのか)意識する必要がある。

粒度	↓	ツール/システム→ レベル	OPAC	記事索引	事項索引	語句索引	Google 等
			目次 DB				検索エンジン
大	1	本1冊・紙誌名	○				△
↑	2	目次・記事の論題	△*	○			△
↓	3	本文:項目・事項			○		△**
小	4	本文:語句・文字				○	△**

○:主にそのレベルを対象 △:引けるが注意が必要  
(レベル)

**粒度** : 情報単位の細かさ。検索システムの分析深度 (浅い⇔深い) に対応。

**目次・論題** : 雑誌の特集名はこの上位だが便宜上ここ  
(ツール・システム)

**OPAC** : 自館 OPAC、NDL-OPAC、CiNii-Books、Worldcat

\*最近では内容細目や記事索引と横断検索できるように ex. NDL サーチ

**記事索引** : 雑誌記事索引、各種新聞記事 DB、NDL デジデポの目次 →**予備知識2**

**目次 DB** : リサナビ内の目次 DB、Books

**事項索引** : 本の巻末索引など。日外アソシエーツの「レファレンス事典」はこれを検索。

**語句索引** : 大叢書の総索引 (横断索引) は、Google Books 的に使える。

**Google 等検索エンジン** \*\*→特に Google Books



## ○ジェネラルなツールをスペシャルに使用する

分科学でないことを逆手にとる。スペシャルというよりスペシフィック(特定の)にか。

### 例1. ある曲の楽譜の所蔵を見つけない。

リサーチ・ナビの「調べ案内」(Pfのこと)を見ると、楽譜専門の総目録 DB というものは国内に見当たらず、楽譜の出版物としての特性に合わせて、

演奏用ピース(1 曲 1 冊)→OPAC      楽譜集(複数 1 冊)→目次 DB

というように、国立図書館と、楽譜の所蔵が多そうだと経験的に判明している図書館の OPAC や目次 DB を引いていることがわかる。

cf. 展覧会図録(展覧目録)(Pf「展覧会・展示会カタログ」を参照)

以前は専用 DB なし → ALC の「美術図書館横断検索」が開発されて劇的に変わった。

### 例2. 明治・大正・昭和前期の人名の読み方は？

・新聞 DB でその人物が出現しそうな事案の記事を検索

→記事本文のルビ(ふりがな)を見る。

→当時の読み方がわかる(ただし、必ずしも目録法にいう「固有のよみ」でない場合も)。

・NDL の名称典拠データを検索 →一応、読みがある。

## ○事項索引

3の事項レベルを系統的に一括検索できるツールは少ない。

### レファレンス事典

ex. 『人物レファレンス事典 郷土人物編』 日外アソシエーツ, 2008【GB12-J819】

### 建築作品インデックス類

cf. Pf「建築作品についての雑誌論文・記事を探す」

『美術商の百年』 東京美術倶楽部 2006.2 【K251-H31】

※「入札目録」の作者>作品名索引がある。作者>作品名→画像

cf. 『美術作品レファレンス事典』 最近、全集から個人全集へも

では 画像→作者・作品名は？ cf. Google image 検索

日本現代詩歌文学館 図書・雑誌検索システム 「合同掲載者・序跋」の欄

## ○語句索引・フルテキスト検索

4の語句・文字レベルを系統的に一括検索できるツールは非常に少ない。

・『明治文学全集. 別巻 総索引』 筑摩書房, 1989 【918.6-M4482】

・青空文庫(ネット情報資源)の全文検索

・『文淵閣四庫全書電子版: 日本語版』 香港: デジタル文化出版 [2005] CD-ROM 182 枚  
【YH231-H8892】 迪志文化出版[1999?]の日本語版? 高価

・『東瀛詩選本文と総索引』 兪[エツ] [原編], 高島要編 勉誠出版, 2007 4 冊(本文編、索引編)  
【KG824-H41~44】

・Google books これをどう使うか……

ex. 昨年のレファレンス研修での事例3「秋山愛三郎」の略歴

→平成 23 年度レファレンス研修 講義資料

[http://www.ndl.go.jp/jp/library/training/material/1192876\\_1486.html](http://www.ndl.go.jp/jp/library/training/material/1192876_1486.html)

## 予備知識 2 記事索引の採録年代 (イメージ)

日本では雑索の発達は遅れたと言われる。近年になって各種の雑索が出現するまで、代わりにタイトル単位の「総目次」が作られていた。

	明治	大正	戦前	戦中	戦後	1985頃	平成
NDL 雑誌記事索引						-----	1996+++
NDL デジデポ* (≒近デジ)	+++++	+++++	+++++	+++++	+++++	+++++	→
皓星社雑誌記事索引集成 DB	+++++	+++++	+++++	+++++	+++++	+++++	
Web OYA-bunko						1988+++++	
大宅目録 (冊子)	--	--	--	--	--	+++++	
CiNii-Articles	--	--	--	--	--	+++++	
WebMAGAZINEPLUS (日外)						-----	+++++
Fujisan.co.jp (詳細検索>特定の号「目次」)							++
占領期新聞・雑誌情報 DB (プランゲ文庫)						■1949	
少年少女雑誌 DB						-----	
大東亜戦争書誌 (冊子)				--	--		
新聞 DB (ヨミダス etc)	+++++	+++++	+++++	+++++	+++++	+++++	■■■■■■■■■■
新聞集成類 (冊子)	--	--	--	--	--	--	

線 (---など) は、網羅度 or 分析深度 (イメージ) : ■>+>->線なし

\* 正式名: 国立国会図書館デジタル化資料 一部が近代デジタルライブラリーでも閲覧可

### ○それぞれの特徴

#### <雑索>

\*→要契約 or 登録

- ・デジデポ: 事実上、戦前期の巨大な雑誌記事 DB となりつつある。→参考文献
- ・皓星社 DB: 元データ→総目次・主題書誌→きめ細かい部分。戦後分は地方研究雑誌も。NDL も。
- ・大宅文庫: 人物情報などきめが細かい。週刊誌に強み。
- ・サイニイ: 学会からデータ提供。NDL 雑索も。
- ・WebMAGAZINEPLUS: 1980 年代一般誌に強み。学会年次報告。
- ・Fujisan.co.jp: 販売サイトの付随機能。検索ノイズ多。広く流通誌。娯楽誌なども。cf. キカンシネット
- ・プランゲ文庫: 網羅率高。極めて詳細な採録。人物調査にも使える。新聞記事も。
- ・戦後日本少年少女雑誌データベース: 1945-2007 を採録。未見。

#### <新聞記事>

新聞 DB: 戦前期も十全に引けるのは\*ヨミダス、\*聞蔵。戦前期新聞経済記事文庫 (神戸大学) も。

新聞集成類: 主題から引きづらい ex. 『明治ニュース事典』、『新聞集成明治編年史』

→『新聞集成(大正/昭和)編年史』(明治大正昭和新聞研究会, 1967-) →目次 DB に採録

新聞類似のもの: デジデポ内『官報』→明治期の官報には新聞的記事がある

### ○総目次

各年に出版社が当該雑誌に掲載する一覧と、年度をまたいで作られる「一括総目次」の 2 種あり。彙報なども細かく採録する「内容細目」や、目次ページの復刻やコピーの「目次集」などもあった。通常は当該雑誌についての簡単な解説がつくため、解題ともなる。

・日本雑誌総目次要覧 / 天野敬太郎, 深井人詩共編 ; [-1983], 1984-1993, 1994-2003. -- 日外アソシエーツ, 1985- 【UP54-25】など

次のものは有名な新聞雑誌図書館の所蔵分(一部)の目次集(復刻)

・東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧. -- 大空社, 1993- 1998 【UP54-E10】

参考文献: 森洋介「雑誌記事索引の遡及拡張は成るか」『文献継承』(19) (2011.10)